

保健医療福祉制度と看護

[講義] 第2学年 後期 必修 1単位

【担当者名】 宮地普子miyajih@hoku-iryo-u.ac.jp 福井純子 姫嶋瑞穂(葉) 谷本真唯 唐津ふさ 山田律子

【概要】

日本の厚生行政のしくみや看護職をはじめとする専門職が働く上で必要な法について学んだ上で、看護の対象者の健康と生活を支えるための基本的な保健医療福祉制度について理解する。

【学修目標】

- 1.日本の保健・医療・介護・福祉・年金行政の総称である厚生行政のしくみについて説明できる。
- 2.看護職に関する法および協働する多職種に関する法について説明できる。
- 3.看護の対象者の健康と生活を支えるための基本的な保健医療福祉制度について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	看護職及び協働する多職種に関する法律1)	オリエンテーション 厚生行政のしくみ 保健師助産師看護師法	福井
2	看護職及び協働する多職種に関する法律2)	看護師等の人材確保の促進に関する法律 協働する多職種と各職種の根拠法	福井
3	医療職として働く場や活動方法に関する制度	法の概念 医療法	姫嶋
4	母子と家族を守る制度と看護	母子保健法 児童福祉法 児童虐待防止法 成育基本法	谷本
5	成人期にある人を守る制度と看護	労働基準法 がん対策基本法 自殺対策基本法(自殺総合対策大綱)	唐津
6	難病と感染症に関する法律	難病法 感染症法	唐津
7	高齢者と家族を守る制度と看護	介護保険法 老人福祉法 高齢者医療確保法 認知症基本法(高齢者虐待防止法と成年後見制度は2年前期「老年看護学」を参照)	山田
8	障害者を守る制度と看護	障害者基本法 障害者総合支援法 生活保護法	宮地

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 84% 授業参加度 16%

【教科書】

森山幹夫：系統看護学講座 看護関係法令 - 健康支援と社会保障制度，医学書院

【参考書】

門脇豊子編著：看護法令要覧，日本看護協会出版会

星旦二・麻原きよみ編著：これからの保健医療福祉行政論，日本看護協会出版会

厚生労働統計協会編著：国民衛生の動向，厚生労働統計協会

田村やよひ：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法 第2版，日本看護協会出版会

【学修の準備】

- 1.各授業の前までに、授業内容に示した法律について教科書の該当ページを読了する。（予習2時間）
- 2.主要な法や制度については原文を読んでおく。（復習2時間）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

山田律子(看護師・保健師)、福井純子(看護師)、唐津ふさ(看護師)、宮地普子(看護師)、谷本真唯(看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

健康課題を持つ個人、集団、地域全体への支援について、看護職として社会資源やサービスを調整、活用した経験を活かし、看護職としての実践に際して理解しておくべき法律や制度を解説する。